

田中弘文 たなか ひろふみ 佛教傳道家。文久二年美濃國生れ。昭和九年九月一日没（八六三一―一九三三）。號舍身居士。佛教各宗の學に造じ、多年居士として各宗を策勵。東京他方の信仰を指導し、經國済民の益を願ふことした。殊に大乘佛教の宣傳に盡力、足跡は滿蒙にまで及んだ。死去の前月、生前告別式を舉行しての語題となつた。漢籍の素養が有り、漢詩、筆跡の妙を得た。大乘會會長。



著書『板垣對政教問答』(明治三十二年十月一日舍身居士)、『佛說孝子經講話』(大正元年十一月二十九日刊)等。